

**がん患者へのアピアランス支援事業** 脱毛や乳房の切除など、がん治療にともなう外見(アピアランス)の変化の悩みを抱えている患者に対し、ウィッグなどの購入等にかかる費用を助成する区市町村の取り組みを都が支援する事業。

**立川市総合戦略・SDGs推進委員会** 近い将来に訪れる人口急減、超高齢社会という極めて厳しく困難な状況を見据えた取組を進めていくために、国が示す地方創生の視点(まち・ひと・しごと)に本市の大きな強みである「交流」を加えた、4つの視点から事業を推進することを目的として設置されたもの。産業界、高等教育機関、金融機関、労働団体、住民自治団体等で構成する推進組織により、進行管理に設定した数値目標等の達成状況、事業の進捗状況等の効果・成果を客観的に検証したうえで、改善(PCDAサイクル)を実施している。また、総合戦略とSDGsは考え方や方向性に共通するところが多く、総合戦略に基づき取り組みを推進することで、SDGsの実現に貢献している。

### がん患者のアピアランスケア 患者の心に寄り添う助成制度を



山本 みちよ (公明党)

**問** がん治療の影響による脱毛や乳房切除といった、外見の変化に対するアピアランスケアは、とても重要です。当市ではウィッグや胸部補正具の購入等の費用を助成するアピアランスケア助成事業の実施について、検討は進んでいますか。また、他市の先行事例では、申請期限が助成対象品購入から1年以内の場合が多いようですが、がん患者がご自身の変化を受け止めながらゆっくり検討ができるよう、申請期間を2年間として検討することはできませんか。

**答** がん患者のアピアランスケア助成については、都の「がん患者へのアピアランス支援事業」の活用を前提として、助成の対象となる品目や申請の期限等、利用者が利用しやすい制度となるよう検討しているところです。申請期限については、現在のところ都から具体的な要件等は示されていませんが、ご指摘いただいた部分も含め、都の事業を活用できる範囲内で、がん患者の方へ最大限の配慮をしていきたいと考えています。

一般質問項目 ①健康・福祉・子育て施策について ②未来を担う子どもたちのために

### 災害時の妊産婦支援 ホテル避難制度の導入を



高畠 奈美 (たちかわ自民党・安進会)

**問** 災害時には、妊産婦に対し、特別な配慮が必要とされていますが、整備ができていないのが現状です。妊産婦に関する備蓄や避難所についてどのように取り組んでいますか。また、衛生面の不安や避難所での授乳のしにくさ、赤ちゃんの泣き声等を気にして妊産婦が避難をためらわないように市内のホテルを妊産婦専用の避難所に指定している自治体もあります。本市でも妊産婦ホテル避難制度をぜひ取り入れてほしいと考えますが、市の見解を伺います。

**答** 妊産婦に関する備蓄として液体ミルクや哺乳瓶の消毒用品を新たに一次避難所に備蓄しています。避難所生活でプライバシーが確保されるよう取り組んでおり、女性や乳幼児世帯優先の居室を設定するなどの避難所運営を進めています。ホテル避難については、プライバシー確保や感染リスク低減等の有効性がありますが、従業員の被災の影響や物資の供給が困難になることが想定されるなど、運営面の課題があると考えており、今後研究していきます。

一般質問項目 ①立川市における妊産婦の取り組みについて ②立川市の選挙事務事業について

### 自治会役員等の担い手不足 活動の継続に向けた対策は



中山 ひと美 (自民党クラブ)

**問** 自治会は、加入世帯と加入率が減少しており、役員の高齢化と担い手不足が顕著になっています。交通安全協会も、地域の安全に大きな役割を担っていますが、高齢化と任務の厳しさなどにより、担い手不足になっています。解決策として、シルバー人材センターの人材に地域活動への協力をしていただけないかと考えていますが、市は自治会等の役員や人材の不足、人材育成をどのように認識し、今後どのような対策を考えていますか。見解を伺います。

**答** 自治会をはじめとした地域社会を支えている組織が現在どのような状況にあるのかを把握することが必要と考えています。その上で、それらの組織の活動が滞ったり、これまで担っていた役割が果たせなくなると、市民生活にどのような影響が及ぶのか、詳細な分析が重要と考えています。シルバー人材センター等の組織の活用等も含め、課題の解決を一步一步進めていくことが、今後の望ましい地域社会の在り方にもつながると考えています。

一般質問項目 ①J R立川駅周辺の街づくりについて ②教育行政について ③超高齢化による自治会役員等の役員不足について

### 第三小学校複合施設の整備 普通教室の面積の再検討を



福島 正美 (公明党)

**問** 子育て・教育の拠点として、学校の複合化には賛成です。公共施設の床面積20%削減の方針も理解しています。しかし、三小の複合化計画では、肝心の普通教室の面積が減らされるとのことです。今後はICTの活用等、新しい学びも増え、ゆとりある教室が求められています。複合化の意味は、既存の面積資源を有効活用し、従来以上に子どもたちにとっての最善の教育環境を実現することにあります。実情に合わせ再検討すべきと考えますが、見解は。

**答** 普通教室の面積は、新たな教育ニーズや多様な学習形態への対応など、教育的視点を第一に、市が目指すべき学校施設整備の基本的方針や標準的な仕様を定めた「学校施設標準仕様」に沿って検討しており、一定の必要な広さは確保できると考えています。「公共施設あり方方針」を踏まえた取り組みにおいても、教育的視点を確保していきます。なお、今後は事業者選定のための要求水準書をまとめる段階で、さらなる検討を行います。

一般質問項目 ①第三小学校複合施設の整備について ②子育て・保育環境のさらなる充実について ③南口27街区について

### 立川市のまちづくり 時代の変化に対応した取組を



松本 あきひろ (たちかわ自民党・安進会)

**問** 物価高騰も相まって不安定な社会状況の中、まちづくりはまちの雰囲気づくりが重要と考えます。また、現在第5次長期総合計画を策定中かと思いますが、若者の考えをしっかりと聞き、計画に盛り込んでいただきたい。一方で、人口減少社会、少子高齢化社会における具体的な考え方を示してください。技術革新の進歩など時代の変化が大変早い社会状況ですが、時代のスピードに決して負けない柔軟な発想や対応が必要と考えますが、市の見解を伺います。

**答** 少子高齢化を含めた人口戦略については、人口急減・超高齢社会への対応を見据えた分野横断的な取り組みとして国の動向を踏まえ、外部有識者からなる総合戦略・SDGs推進委員会の意見を聞きながら進めていきます。特に、結婚・妊娠・出産・子育てに応じた支援は自治体連携、官民連携による事業の検討を進めています。時代の変化には、今後も想定されない事案に柔軟に対応しながら市政運営を進めていく仕組みを構築して対応していきます。

一般質問項目 ①富士見町周辺地域の対策等について ②交通安全対策等について ③まちづくり等の改善等について

### 投票率向上の取り組み 期日前投票所の増設を



山本 洋輔 (立憲ネット緑たちかわ)

**問** 令和5年度の立川市長選の投票率は37.15%、都議補選は27.39%と、依然として選挙の投票率は低い状況が続いています。投票率の向上には、第一に選ばれる側である政治側の不断の努力が不可欠ですが、その一方で投票に行く権利を担保すること、投票に行きやすくする取り組みも必要です。現在市内3か所にある期日前投票所の増設を要望するとともに、若年層を主な対象とした投票率向上や、主権者教育の取り組みについて伺います。

**答** 期日前投票所については、令和6年度の東京都知事選挙に向けて南地域に新たな期日前投票所を増設する検討を始めました。投票率向上のため、若年層に向けては、新成人へ選挙啓発はがきを送付する、国立音楽大学の学生の方に期日前投票所の立会人として参加していただくなどの取り組みをしています。また、今後はコロナ禍で途絶えていた主権者教育としての出前授業や模擬投票を、都や市の関連部署とも連携し再開したいと考えています。

一般質問項目 ①選挙事務について ②若者会議、若者議会の実現に向けて ③適切な庁内の人員体制や庁舎の在り方